

酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

豊富な草資源を活用した全国一の生乳生産力を有する酪農や水産資源に恵まれた漁業など、地域を支える基幹産業である農林水産業とそれを活かした関連産業の振興を図りながら、商品力の強化・販路拡大の取組を進めるとともに、地域産業の維持のため担い手の育成・確保に努めることで、地域の活力を生み出します。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績(平成28年度)

- 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給
 - ◎草地型酪農推進フォーラムの開催
 - ◎衛生管理型漁港の施設整備(8漁港)
 - 草地型酪農推進プロジェクト会議の開催
 - マツカワ種苗放流事業への支援
 - 畜産クラスター関連事業の活用による自給飼料の安定確保(1箇所)、酪農経営体の育成(11箇所)
 - サケの安定生産に向けた体制整備支援
- 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進
 - ◎海外バイヤー等対象のモニターツアーの開催や乳製品試食アンケート調査の実施
 - ◎牛乳乳製品PR活動(場所:東京、札幌)
 - 内陸町村イベントでの水産物販売による情報発信(釧路管内地域づくりビジョン関連)
 - 根室さんま直送市への支援・開催(場所:札幌 根室水産物普及推進協議会・振興局共催)
 - 活×鮭の普及対策
 - 知床らうすブランド認証制度の運用
- 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進
 - ◎「新・農業人フェア(東京・大阪・札幌)」の参加及び道外農業系学校において就農に向けたガイダンスの実施
 - ◎若者早期離職防止対策総合プログラムの推進に向けた地域雇用ネットワーク会議の設置
 - 農業研修生等への研修の実施
 - 森林整備担い手対策推進事業による労働環境の改善
 - 漁業後継者対象の総合的な研修の実施
 - 林業のおしごと講座の開催

今年度の主な取組(平成29年度)

- 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給
 - ◎草地型酪農推進フォーラムの開催
 - ◎衛生管理型漁港の施設整備(7漁港)
 - 草地型酪農推進プロジェクト会議の開催
 - 雑海藻駆除によるコンブ漁場の回復
 - 畜産クラスター関連事業の活用による自給飼料の安定確保、酪農経営体の育成
 - サケの安定生産に向けた体制整備支援
- 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進
 - ◎海外バイヤー等対象のモニターツアーの開催
 - ◎牛乳乳製品PR活動
 - 内陸町村イベントでの水産物販売による情報発信(釧路管内地域づくりビジョン関連)
 - 肉牛の飼養管理マニュアル作成
 - サバ類、マイワシのPRイベント実施(場所:札幌、東京)
 - 根室さんま直送市開催(場所:札幌 根室水産物普及推進協議会・振興局共催)
 - 活×鮭の普及対策
 - 知床らうすブランド認証品をはじめとした特産品のPR
- 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進
 - ◎「新・農業人フェア(東京・大阪・札幌)」の参加及び道外農業系学校において就農に向けたガイダンスの実施
 - ◎若者早期離職防止対策総合プログラムの推進
 - 農業研修生等への研修の実施
 - 林業・木材産業担い手確保推進協議会の設立
 - 漁業後継者対象の総合的な研修の実施
 - 林業のおしごと講座の開催

今後の取組を進める上での主な課題

- 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給
 - ◎根釧酪農ビジョンの着実な推進(良質な自給飼料の安定的確保、農業者の生産意欲や技術向上に向けた取組)
 - 消費者のニーズに即した水産物の生産・流通体制への転換
 - 安定した生乳等の生産が可能な防疫対策の推進
 - 沿岸に来遊するサケの安定生産
- 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進
 - ◎根釧酪農ビジョンの着実な推進(牛乳・乳製品等の高付加価値化や販路拡大)
 - ◎地域連携による「食」の魅力発信の取組
 - ロシア水域におけるサケマス流し網漁業の代替漁業確立としてサバ類・マイワシ単価の向上
 - さけの高付加価値化
 - 知床らうすブランドの拡大及び知名度向上
- 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進
 - ◎小規模企業の経営体質の強化
 - ◎根釧酪農ビジョンの着実な推進(多様な担い手の確保)
 - ◎キャリアデザインがない若者の安易な離職の防止
 - 漁村地域が主体となった受入体制の整備
 - 林業・木材産業に関する情報発信、林業労働者の技能向上や安全衛生の確保
 - 林業の後継者・新規参入者など意欲や能力のある多様な担い手の確保

酪農や漁業など地域を支える産業の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

次年度の取組(平成30年度)

- 基幹産業の持続的発展による安全安心な農水産物の供給
 - ◎草地型酪農推進フォーラムの開催
 - ◎衛生管理型漁港の施設整備、水産資源の回復・安定のための漁場造成及びTAC制度による資源管理
 - 草地型酪農推進プロジェクト会議の開催
 - マツカワ種苗放流事業への支援
 - 畜産クラスター関連事業の活用による自給飼料の安定確保、酪農経営体の育成
 - サケの安定生産に向けた体制整備支援

- 食の商品力強化など地場産品のブランド化や高付加価値化の推進
 - ◎国内外における物産展等の開催による地場産品のPR
 - 内陸町村イベントでの水産物販売による情報発信(釧路管内地域づくりビジョン関連)
 - 肉牛の飼養管理マニュアル作成
 - サバ類、マイワシのPRイベント実施(場所:札幌、東京)
 - 根室さんま直送市開催(場所:札幌 根室水産物普及推進協議会・振興局共催)
 - 活×鮭の普及対策
 - 知床らうすブランド認証品をはじめとした特産品のPR

- 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進
 - ◎首都圏等で開催されるイベント等で行われる就農・就業促進活動への参加及び道外農業系大学等において就農に向けたガイダンスの実施
 - ◎若者早期離職防止対策総合プログラムの推進
 - 農業研修生等への研修の実施
 - 林業・木材産業担い手確保推進協議会の運営
 - 漁業後継者対象の総合的な研修の実施
 - 林業のおしごと講座の開催

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
生乳生産量	1,294千トン	1,324千トン(97%)	1,350千トン(99%)	1,336千トン(98%)		1,359千トン
釧路地域	517千トン	528千トン(98%)	539千トン(100%)	532千トン(99%)		539千トン
根室地域	777千トン	796千トン(97%)	811千トン(99%)	804千トン(98%)		820千トン
漁業生産額 (漁業就業者一人あたり)	《基準値:H25》 23,120千円	26,376千円(105%)	23,949千円(96%)	今後公表予定		《H32まで》 25,070千円
釧路地域	16,222千円	19,650千円(108%)	17,634千円(97%)			18,172千円
根室地域	28,827千円	32,053千円(104%)	29,297千円(95%)			30,777千円
どさんこプラザの商品定番化						《H28～32累計》
釧路地域	5件	12件(48%)	7件(24%)	14件(56%)		25件
根室地域	2件	1件(10%)	3件(30%)	6件(60%)		10件
	3件	11件(73%)	4件(27%)	8件(53%)		15件
新規就農者数	約50人/年	48人/年(60%)	53人/年(66%)	今後公表予定		《H36まで》 80人/年
新規漁業就業者数	18人	17人(19%)	20人(22%)			《H28～32累計》 90人
釧路地域	5人	4人(16%)	11人(44%)			25人
根室地域	13人	13人(20%)	9人(14%)		65人	

地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

豊かな自然環境など地域の強みを活かした滞在型観光の推進や広域観光周遊ルートの形成による観光地づくり、増加傾向にある移住希望者に対する受入環境の整備、移住情報の発信などによって、地域内外の人やモノの流れをつくとともに、地域の魅力を高め連携を図りながら、交流人口を拡大することで地域の活性化を図ります。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績(平成28年度)

■ 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成

- ◎道東4振興局合同観光プロモーションの実施
- ◎道東インバウンドガイドネットワークの運営
- 多言語観光ホームページの公開やFacebookによる外国人向けの情報発信
- 気候特性を活かしたスポーツ合宿誘致の推進
- 北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業の実施

- ・東京23区交流推進員の配置(H28.10~)
- ・プロモーション映像(VR等)の作成
- ・「北海道くしろ!旬!秋の味覚市」の開催(H28.10 荒川区)
- ・ヘルスツーリズム拡大プロモーション及び教育旅行誘致の実施

○「ウエルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」の開催及び魅力発信の取組

●自然と食の魅力あふれるオール根室ブランド強化推進事業の実施

- ・多言語案内看板設置
- ・野鳥観察用ハイドの整備(新規1箇所設置)
- ・バードランドフェスティバル開催(H29.1 参加者900人)
- ・知床物産展開催(H28.11 東京世田谷区)

■ 体験移住を含めた移住・定住の促進

- ◎移住・定住推進連絡協議会や地域おこし協力隊ミーティング・意見交換会の開催
- ◎ふるさと移住定住推進センターを活用した情報発信及び個別相談会の実施(場所:東京、札幌)
- ◎北海道暮らしフェアへの出展(釧路:3町村、根室:根室振興局、2市町)
- 民間事業者と連携したPR活動や受入環境整備による長期滞在の推進
- 空き家バンク制度を活用した移住・定住施策の推進
- 北海道ふるさとワーキングホリデー実施
- ねむろのくにブログでの情報発信(9件)
- 移住体験住宅の運用・お試し暮らし

今年度の主な取組(平成29年度)

■ 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成

- ◎道東4振興局合同観光プロモーションの実施
- ◎道東インバウンドガイドネットワークの運営
- 多言語観光ホームページの公開やFacebookによる外国人向けの情報発信
- 気候特性を活かしたスポーツ合宿誘致の推進
- 北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業の実施

- ・東京23区交流推進員の配置(H29.6~)
- ・プロモーション映像(VR等)を活用した管内観光PR
- ・「北海道くしろ!旬!秋の味覚市」の開催(H29.10 荒川区)
- ・ヘルスツーリズム拡大プロモーション及び教育旅行誘致の実施

○「ウエルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」の開催及び魅力発信の取組

- 多言語案内看板設置
- バードランドフェスティバル開催

■ 体験移住を含めた移住・定住の促進

- ◎移住・定住推進連絡協議会や根釧合同による地域おこし協力隊ミーティング・意見交換会の開催
- ◎ふるさと移住定住推進センターを活用した情報発信
- ◎北海道暮らしフェアへの出展(釧路:釧路総合振興局・2市町、根室:根室振興局・5市町)
- 民間事業者と連携したPR活動や受入環境整備による長期滞在の推進
- 空き家バンク制度を活用した移住・定住施策の推進
- 北海道ふるさとワーキングホリデー実施
- ねむろのくにブログでの情報発信
- 移住体験住宅の運用・お試し暮らし
- 知床物産展でのPR活動(H29.11 東京世田谷区)

今後の取組を進める上での主な課題

■ 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルートの形成

- ◎地域の特色・資源を活用した魅力発信と誘客活動の強化による認知度向上
- ◎地域の魅力を活かした広域観光周遊ルートの形成と、体験型観光のメニューづくり
- エコツーリズム推進に必要なネイチャーガイド等の人材育成

○ハード・ソフト両面にわたる外国人観光客の受入体制の整備

○さらなるスポーツ合宿誘致のため、食と融合した魅力創出の取組やスポーツ団体のニーズにマッチングする情報発信の強化

- 教育旅行、合宿誘致など、地域の自然環境や気候特性を活かした取組の推進
- 大型外航旅客船、国際チャーター便の誘致による外国人観光客の増加及び受入環境の整備

■ 体験移住を含めた移住・定住の促進

- ◎移住・定住推進連絡協議会を活用した取組の推進及び協議会で明らかとなった課題(仕事・住居など)の解消に向けた検討
- ◎地域の特色を活かした管内連携によるPRの促進
- 地域おこし協力隊や市町村間交流の継続と隊員が地域に定住できる体制づくり
- テレワークの継続的な実施
- 協議会等と連携した移住定住の取組や、就業体験等、本格移住に向けた取組の推進

地域の強みを活かした交流人口の拡大プロジェクト

釧路・根室連携地域

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

次年度の取組(平成30年度)

- 地域の強みを活かした滞在型観光や広域観光周遊ルート形成
 - ◎道東4振興局合同観光プロモーションの実施
 - ◎道東インバウンドガイドネットワークの構築
 - ◎LCC就航による誘客促進に向けた取組の実施
 - 多言語観光ホームページの公開やFacebookによる外国人向けの情報発信
 - 気候特性を活かしたスポーツ合宿誘致の推進
 - 新たな魅力創出基礎調査やスポーツ合宿誘致状況等の調査の実施
 - 北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業の実施
 - ・東京23区交流推進員の配置
 - ・プロモーション映像(VR等)を活用した管内観光PR
 - ・「北海道くしろ!旬!秋の味覚市」の開催(荒川区)
 - ・ヘルスツーリズム拡大プロモーション及び教育旅行誘致の実施
 - 「ウエルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」の開催及び魅力発信の取組
 - バードランドフェスティバル開催
 - 根室観光連盟による情報発信強化事業

- 体験移住を含めた移住・定住の促進
 - ◎移住・定住推進連絡協議会や根釧合同による地域おこし協力隊ミーティングの開催
 - ◎移住・交流に関する情報発信
 - 首都圏等で開催される移住関連イベントへの出展
 - 民間事業者と連携したPR活動や受入環境整備による長期滞在の推進
 - 空き家バンク制度を活用した移住・定住施策の推進
 - 移住体験住宅の運用・お試し暮らし等の移住定住の取組
 - 知床物産展でのPR活動(東京世田谷区)
 - 管内の移住・交流に関する情報をまとめた「移住ハンドブック」の作成

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
観光入込客数	《基準値:H25》 806.0万人	918.0万人(90%)	912.5万人(89%)	今後公表予定		《H32まで》 1,023.6万人
釧路地域	618.6万人	727.5万人(88%)	727.8万人(88%)			828.9万人
根室地域	187.4万人	190.5万人(98%)	184.7万人(95%)			194.7万人
観光入込宿泊客延数	《基準値:H25》 182.3万人	195.2万人(79%)	198.8万人(81%)	今後公表予定		《H32まで》 245.7万人
釧路地域	156.1万人	168.2万人(78%)	173.3万人(80%)			217.0万人
根室地域	26.2万人	27.0万人(94%)	25.5万人(87%)			29.4万人
体験移住「ちょっと暮らし」の滞在日数	18,253日	21,853日(101%)	28,445日(132%)	今後公表予定		《H32まで》 21,542日
釧路地域	15,466日	17,934日(98%)	24,401日(134%)			18,253日
根室地域	2,787日	3,919日(119%)	4,044日(123%)			3,289日

環境保全と地域資源の有効利用推進プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

知床世界自然遺産、釧路湿原や風蓮湖等のラムサール条約湿地、摩周湖、アイヌ文化など地域の財産である豊かな自然環境や伝統文化を将来に残し未来の子どもたちへ引き継ぐため、森林をはじめとする自然環境を保全しながら、地域に賦存するエネルギー資源などの利活用や森林資源の循環利用及び伝統文化の保存・活用を推進します。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績（平成28年度）

- 自然環境の保全と適正利用の促進
 - ◎関係機関と連携した自然環境の適正利用及び保全対策の検討
 - ◎公園内施設の整備(歩道整備、トイレ改修等)
 - ◎ごみの不法投棄やポイ捨て防止に係るパトロールの実施や地域の自主的な活動の促進
 - 地域における清掃活動の実施
 - 釧路湿原国立公園連絡協議会によるホームページリニューアル(準備)
 - エコツーリズム推進に係る構想策定・運営
 - 知床国立公園に係るインターネットサイト「知床情報玉手箱」を試行的に開設
- 地域資源の利活用の推進
 - ◎省エネ・新エネ導入推進会議の開催(H28.5)及び相談窓口の設置(H20から継続)
 - ◎森林整備事業による間伐・植栽の実施
 - ◎森林整備に関する技術指導や情報提供
 - ◎道・市町村等が連携した植樹活動・森林学習・木工体験教室など木育の実施
 - ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度における認証の取得促進
 - 石炭の安定供給確保のための取組
 - 木質バイオマス資源活用促進事業による集荷システム構築に向けた検証
 - イランカラプテキャンペーンと連動したアイヌ文化の情報発信
 - 別海町木質バイオマス資源活用検討会の設置(H28.9、H29.2)

今年度の主な取組（平成29年度）

- 自然環境の保全と適正利用の促進
 - ◎関係機関と連携した自然環境の適正利用及び保全対策の検討
 - ◎公園内施設の整備(歩道整備、トイレ改修等)
 - ◎ごみの不法投棄やポイ捨て防止に係るパトロールの実施や地域の自主的な活動の促進
 - 地域における清掃活動の実施
 - 釧路湿原国立公園連絡協議会によるホームページリニューアル
 - エコツーリズム推進に係る構想の運営
 - 関係機関と連携し、各種情報発信の取組について検討
- 地域資源の利活用の推進
 - ◎省エネ・新エネ導入推進会議の開催(H29.4)及び相談窓口の設置(継続)
 - ◎森林整備事業による間伐・植栽の実施
 - ◎森林整備に関する技術指導や情報提供
 - ◎関係団体が連携した植樹活動・森林学習・木工体験教室など木育の実施
 - ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度における認証の取得促進
 - 石炭の安定供給確保のための取組
 - 木質バイオマス資源活用促進事業による集荷システムの普及及びPR活動
 - イランカラプテキャンペーンと連動したアイヌ文化の情報発信
 - 別海町木質バイオマス資源活用検討会の開催

今後の取組を進める上での主な課題

- 自然環境の保全と適正利用の促進
 - ◎自然環境保全対策の周知徹底及び外国人利用者の利便性向上
 - ◎地域全体の環境行動の一層の浸透と定着
 - ◎公園内の主要な利用拠点における多言語化案内看板の設置や公衆トイレの洋式化
 - 国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラムに沿った事業の実施
 - 農業被害の防止に向けたタンチョウの保護による観光への影響の把握と課題の解決
 - 道立自然公園に係る情報発信のあり方について検討が必要
- 地域資源の利活用の推進
 - ◎地域資源を活用した地産地消型再生可能エネルギーの導入促進
 - ◎林地未利用材の効率的な搬出・集荷方法の推進や地産地消に向けた需給体制の構築
 - ◎関係団体との連携強化による木育の推進
 - ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度の取得促進
 - ◎アイヌ文化の一層の理解促進や情報発信
 - 北海道地域材利用推進方針等に基づく木材利用の推進及び計画的な森林整備
 - 炭鉱技術の海外移転事業の継続と石炭の地産地消の促進
 - 造林未済地の解消

環境保全と地域資源の有効利用推進振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

次年度の取組(平成30年度)

■ 自然環境の保全と適正利用の促進

- ◎関係機関と連携した自然環境の適正利用及び保全対策の検討
- ◎公園内施設の整備(歩道整備、トイレ改修等)
- ◎ごみの不法投棄やポイ捨て防止に係るパトロールの実施や地域の自主的な活動の促進
- 地域における清掃活動の実施
- エコツーリズム推進に係る構想の運営
- タンチョウとの共生を目的とした指針の構築へ向けた取組
- 関係機関と連携し、各種情報発信の取組について検討

■ 地域資源の利活用の推進

- ◎省エネ・新エネ導入推進会議の開催及び相談窓口の設置
- ◎森林整備事業による間伐・植栽の実施
- ◎森林整備に関する技術指導や情報提供
- ◎関係団体が連携した植樹活動・森林学習・木工体験教室など木育の実施
- ◎北海道エゾシカ肉処理施設認証制度における認証の取得促進
- 石炭の安定供給確保のための取組
- 地熱資源を活用した「弟子屈・ジオ・エネルギー事業」
- 地域特性を踏まえた未利用間伐材等の効率的な搬出・集荷方法を推進
- イランカラプテキャンペーンと連動したアイヌ文化の情報発信
- 別海町木質バイオマス資源活用検討会の開催
- エゾシカレザークラフト製品の販売と体験メニューの取組

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
道立自然公園利用者数	774千人	896千人(111%)	843千人(104%)	今後公表予定		810千人
釧路地域	479千人	590千人(118%)	539千人(108%)			500千人
根室地域	295千人	306千人(99%)	304千人(98%)			310千人
植林面積	1,260ha	1,291ha(86%)	1,201ha(80%)	1,113ha(74%)		《H32まで》 1,497ha
道エゾシカ肉処理施設認証制度 の認証施設数	-	0件(0%)	2件(100%)	2件(100%)		《H32まで》 2件
釧路地域		0件(0%)	1件(100%)	1件(100%)		1件
根室地域		0件(0%)	1件(100%)	1件(100%)		1件

安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

人口減少が続いている現状を踏まえ、少子化に一定程度の歯止めをかけるべく、子育て環境を整えることで子育てをしやすくするとともに、子どもや高齢者・障がいのある方にも安心な防災体制の強化や医療体制の維持などを図り、安全で安心に暮らすことのできる地域を目指します。

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

これまでの主な取組実績（平成28年度）

- 子育て支援及び高齢化対策の推進
 - ◎婚活イベント(男女の出会いの場の創出)
 - ◎認定こども園の設置推進
 - ◎生活支援コーディネーター育成研修会及び地域包括支援センター職員意見交換会の開催
 - 認知症総合支援事業の実施
 - 妊娠・出産・育児強化事業や産後ケア教室の実施
 - 住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業の選定
 - 別海町での乳幼児や高齢者に健康増進のための牛乳配付(92万個)
- 地域防災力の充実・強化
 - ◎総合防災、風水害・暴風雪訓練の実施
 - ◎北海道地域防災マスター研修会等の開催
 - ◎避難所運営ゲーム北海道版等を活用した防災教育の実施(釧路管内:10回、根室管内:3回)
 - ◎派遣要領に基づく職員派遣(釧路管内:2名 根室管内:13名)
 - 地震津波対策専門家派遣事業の実施
 - 暴風雪災害セミナー開催(H28.9)
- 地域の医療体制の構築
 - ◎看護師確保に向けた病院内保育施設への運営補助や研修実施、ナースバンクの活用
 - ◎保健医療福祉圏域連携推進会議等の開催
 - ◎道東ドクターヘリ運航調整委員会開催
 - 地域医療支援センターでの医師派遣事業
 - 道医師会と連携した中学生を対象とした医療体験学習会の開催
 - 医療系学生ゼミ・研究室、サークルの誘致
 - 札幌医科大学によるメディカルカフェ及び地域密着型医療実習交流会の開催(地域と医育大学との連携)

今年度の主な取組（平成29年度）

- 子育て支援及び高齢化対策の推進
 - ◎認定こども園の設置推進
 - ◎地域包括支援センター職員意見交換会の開催
 - 認知症総合支援事業の実施
 - 結婚支援広域連携促進事業の実施
 - 妊娠・出産包括支援事業の実施
 - 婚活事業の推進
 - 住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業の実施地域の拡大(地域の多様な世帯が相互に交流できるイベント開催など)
 - 別海町における乳幼児や高齢者に健康増進のための牛乳配付(93万個)
- 地域防災力の充実・強化
 - ◎総合防災、風水害・暴風雪訓練の実施
 - ◎北海道地域防災マスター研修会等の開催
 - ◎避難所運営ゲームを活用した防災教育の実施、講師養成研修会の実施
 - ◎派遣要領に基づく職員派遣
 - 管内市町村防災担当者会議などでの、様々な課題解決に向けた支援実施
 - 北海道の特色を活かした災害食レシピの開発
- 地域の医療体制の構築
 - ◎看護師確保に向けた病院内保育施設への運営補助や研修実施、ナースバンクの活用
 - ◎保健医療福祉圏域連携推進会議等の開催
 - ◎道東ドクターヘリ運航調整委員会開催
 - 地域医療支援センターでの医師派遣事業
 - 継続的な来根学生の確保
 - 地域と医育大学との連携

今後の取組を進める上での主な課題

- 子育て支援及び高齢化対策の推進
 - ◎積極的な結婚支援に向けた社会気運の醸成
 - ◎子育て環境の整備のため認定こども園への計画的な移行等の促進
 - ◎地域包括支援センターが担うコーディネート機能の強化や近隣センター間の連携強化
 - 地域で支え合うまちづくりに向けた意識醸成
 - 住民参加型子育てサポート体制づくりにおけるより使いやすい制度の確立
- 地域防災力の充実・強化
 - ◎地域の災害特性を踏まえた訓練や各種会議の開催
 - ◎防災情報の伝達手段における課題を踏まえた改善方法の検討
 - ◎北海道地域防災マスター研修会等による防災活動リーダーの育成
 - ◎自治体及び各種団体等における防災教育の推進につながる各種支援(避難所運営ゲームの実施等)
- 地域の医療体制の構築
 - ◎地域での医療従事者確保及び定着
 - ◎ドクターヘリの着実な運航
 - ◎救急医療、へき地医療など医療提供体制の維持
 - 中長期的な医療機能等のあり方の協議

安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくり振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【施策展開】 ◎：連携地域、○：釧路地域、●：根室地域

次年度の取組(平成30年度)

■ 子育て支援及び高齢化対策の推進

- ◎認定こども園の設置推進
- ◎地域包括支援センター職員意見交換会の開催
- 妊娠・出産包括支援事業の実施
- 婚活事業の推進
- 住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業の実施地域の拡大(地域の多様な世帯が相互に交流できるイベント開催など)
- 別海町での乳幼児や高齢者に健康増進のため牛乳配付(90万個)

■ 地域防災力の充実・強化

- ◎総合防災、風水害・暴風雪訓練の実施
- ◎北海道地域防災マスター研修会等の開催
- ◎避難所運営ゲームを活用した防災教育の実施
- ◎派遣要領に基づく職員派遣とさらなる円滑な災害対応のための体制検討
- 管内市町村防災担当者会議などでの、様々な課題解決に向けた支援実施
- 北海道の特色を活かした災害食レシポの普及促進

■ 地域の医療体制の構築

- ◎看護師確保に向けた病院内保育施設への運営補助や研修実施に係る補助、ナースバンクの活用
- ◎保健医療福祉圏域連携推進会議等の開催
- ◎道東ドクターヘリ運航調整委員会開催
- ◎北海道医療計画を踏まえた地域医療計画の策定
- 地域医療支援センターの医師派遣事業等を活用した医師派遣の調整
- 継続的な来根学生の確保
- 地域と医育大学との連携

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
認定こども園設置数	0か所	8か所(31%)	16か所(62%)	20か所(77%)		26か所
釧路地域	0か所	0か所(0%)	5か所(36%)	9か所(64%)		14か所
根室地域	0か所	8か所(67%)	11か所(92%)	11か所(92%)		12か所
住民参加型子育てサポート体制づくりモデル事業への参加子育て世帯数【根室】	0世帯	8世帯(27%)	12世帯(40%)	19世帯(63%)		30世帯
地域防災マスター登録者数	《基準値:H27》					《H32まで》
釧路地域	—	189人(68%)	253人(90%)	256人(91%)		280人
根室地域	—	120人(67%)	127人(71%)	130人(72%)		180人
患者の受療動向(圏域内自給率)						
入院患者	《基準値:H25》					《H32まで》
釧路地域	94.4%	—	—			98.2%
根室地域	78.0%					81.6%
患者の受療動向(圏域内自給率)						
外来患者	《基準値:H25》					《H32まで》
釧路地域	98.4%	—	—			99.4%
根室地域	81.9%					88.1%

今後公表予定

北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【概要・目的】

北方領土問題が発生してから70年以上が経過しているものの、未だに解決に至っていないことから、国の外交交渉を支える国民世論高揚のために、北方領土返還要求運動の認知度向上やより一層の裾野拡大、新たな世代への継承などの啓発活動に取り組みます。

また、根室地域では、北方領土隣接地域(根室管内1市4町)が置かれている特殊な地域事情に鑑み、元島民に対する援護や地域振興及び住民生活の安定を図るための諸施策を国、地方自治体、関係団体等と連携して推進します。

平成28年12月の日露首脳会談で合意された北方墓参の改善や共同経済活動については、平和条約締結、北方領土の返還に向けた重要な一歩となり得るものであり、北方四島と隣接地域等の一体性を図りつつ、交流の拡大や共同経済活動への参入を通じて両地域の経済の活性化や将来に向けた環境整備が図られる等、日露双方に有益なものとなるように取り組んでいきます。

【施策展開】 ◎：連携地域、●：根室地域、○：釧路地域

これまでの主な取組実績(平成28年度)

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ◎ 街頭啓発及び署名活動の実施
 - ◎ 北方領土関連啓発パネル展等の実施
 - ◎ 北方四島交流事業(ビザなし)の支援
- 「見て知る北方領土」展示会の開催
- 北方領土遺産発掘・継承事業
 - ・遺産ツアー開催(野付半島)
 - ・「忘れてはいけない、モノがたり展」の開催
 - ・日口混住時代の記憶(勉強会、資料展)等
- 千島桜プロジェクト推進事業
 - ・首都圏での北方領土学習会、管内商品PR等
- 北方墓参事業の実施、自由訪問事業の支援
- 北方領土隣接地域振興等補助金等による支援
- 内閣府設置の北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策の検討会議に参画
- 根室管内1市4町共通(関係団体との連携含む)
 - ・各種イベント開催時、強調月間(8月)、特別啓発期間(2月)の署名活動、パネル展等の啓発活動
 - ・北方領土返還アピール行進(12月)
 - ・北方四島交流事業(ビザなし交流事業)の受入等の支援

今年度の主な取組(平成29年度)

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ◎ 街頭啓発及び署名活動の実施
 - ◎ 北方領土関連啓発パネル展等の実施
- 「見て知る北方領土」展示会の開催
- 北方領土遺産発掘・継承事業
 - ・遺産ツアー開催(野付半島)
 - ・セルツェ(心)講演会(語り部・座談会)等
 - ・遺産事業ザ・ファイナル報告会&講演会等
- 千島桜プロジェクト推進事業
 - ・首都圏企業向け啓発、管内加工品商品PR等
- 北方四島交流事業(ビザなし)の支援
- 共同経済活動に伴う現地調査に係る支援
- 北方墓参事業の実施、自由訪問の支援
- 特別墓参(航空機墓参)の支援
- 北方領土隣接地域振興等補助金等による支援
- 北方領土隣接地域への訪問客拡大に向けた振興方策に伴う連携した取組み
 - ・ファムトリップ(地域発見ツアー)(5月)
 - ・隣接地域の魅力を発信するシンポジウム(6月)
- 根室管内1市4町共通(関係団体との連携含む)
 - ・各種イベント開催時、強調月間(8月)、特別啓発期間(2月)の署名活動、パネル展等の啓発活動
 - ・北方領土返還アピール行進(12月)
 - ・北方四島交流事業(ビザなし交流事業)の受入等の支援

今後の取組を進める上での主な課題

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ◎ 国の外交交渉を支える国民世論高揚のため、返還要求運動の認知度向上を促進
 - ◎ 返還要求運動のより一層の裾野拡大、新たな世代への継承
- 四島交流事業の円滑な実施
- 元島民の往来に係る追加的な一時的通過点の設置や現行手続きの簡素化
- 現地での確実な出入域手続
- 四島における出入域手続箇所の複数化
- 特別墓参(航空機墓参)の継続実施
- 実施団体等に対する支援措置の強化
- 北方領土隣接地域振興に係る新たな財源対策
- 北方四島における共同経済活動に関して、我が国の法的立場を害さず、元島民や北方領土隣接地域の意見が十分配慮され、領土問題が置き去りにならないよう協議が進められること

北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト

釧路・根室連携地域

【施策展開】 ◎：連携地域、●：根室地域、○：釧路地域

次年度の取組(平成30年度)

■北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備

- ◎街頭啓発及び署名活動の実施
- ◎北方領土関連啓発パネル展等の実施

- 「見て知る北方領土」展示会の開催
- 北方領土モノがたり事業
 - ・北方領土啓発事業
 - ・観光分野連携事業
 - ・デジタルコンテンツ活用事業

- 北方四島交流事業(ビザなし)の支援
- 共同経済活動に伴う現地調査に係る支援
- 北方墓参事業の実施、自由訪問の支援
- 特別墓参(航空機墓参)の支援
- 北方領土隣接地域振興等補助金等による支援

【KPIの状況】 進捗率 ~ () 書き

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
北方領土返還要求署名数	69,091人	57,452人(77%)	56,628人(77%)	今後公表予定		《H32まで》 74,000人
釧路地域	22,563人	23,358人(97%)	23,427人(98%)			24,000人
根室地域	46,528人	34,094人(68%)	33,201人(66%)			50,000人